

反応拡散系の理論と応用 ～現状と未来～

日時： 2018年10月12日（金）～13日（土）

場所：北海道大学電子科学研究所

中央キャンパス総合研究棟2号館5階講義室

プログラム：

10月12日（金）

10：00～11：15 辻川亨（宮崎大学工学教育研究部）

Stability of bifurcating solutions

for the nonlocal Allen-Cahn equation

11：15～12：30 田中吉太郎（公立ほこだて未来大学 システム情報科学部）

分化の波の数理モデルとその連続化

12：30～14：00 昼食

14：00～15：15 出原浩史（宮崎大学工学部）

交差拡散-競争方程式における周期解

15：15～16：30 若狭徹（九州工業大学大学院工学研究院）

細胞集団を記述する数理モデルとその解析

17：00～18：15 池田榮雄（富山大学大学院理工学研究部（理学））

3種競争拡散系における3種共存進行波解の分岐について

19：30～ 情報交換会

10月13日（土）

10：00～11：15 坂元国望（広島大学大学院理学研究科）

領域境界上反応-領域内部拡散系に対する Turing 不安定化について

11：15～12：30 関坂歩幹（明治大学 研究・知財戦略機構）

曲面上で相互作用する複数のスポットの運動について

12：30～14：00 昼食

14:00～15:15 森田善久（龍谷大学工学部）

反応拡散系における保存則とパターン形成

15:15～16:30 須志田隆道（北海道大学電子科学研究所）

反応拡散方程式による網膜情報処理の階層モデルと残像錯視

17:00～18:15 西浦廉政（東北大学 WPI）

振動テールをもつパルスダイナミクス

19:30～ 懇親会

主催：電子科学研究所 附属社会創造数学研究センター，理学院数学専攻

世話人：栄伸一郎（北海道大学），長山雅晴（北海道大学）